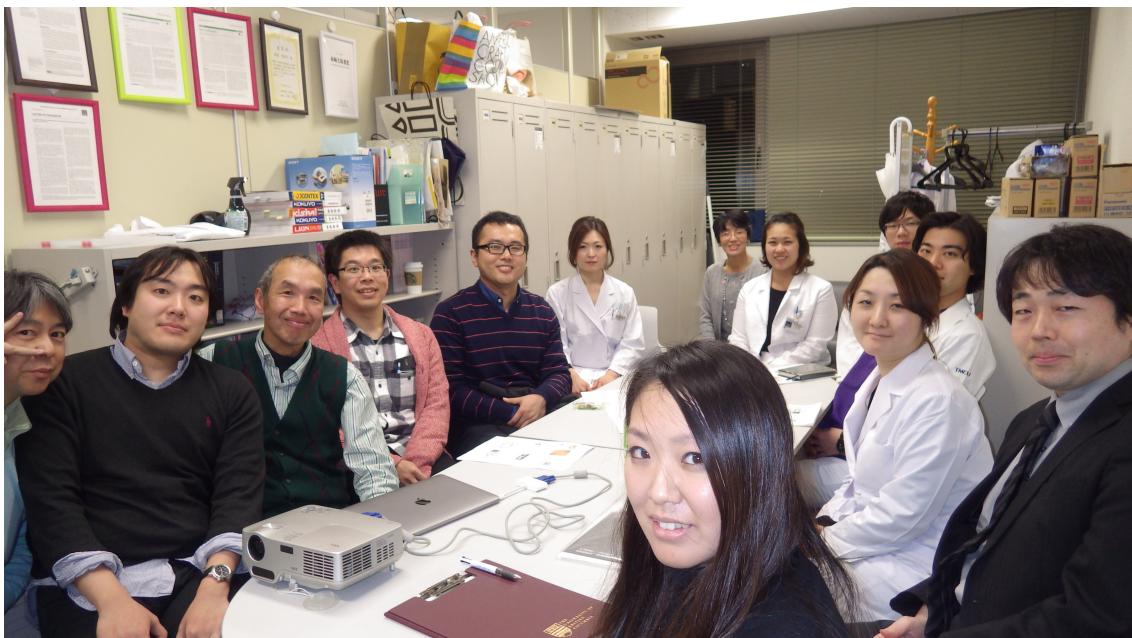


教室勉強会（2017.1.26,27）

昨年度に引き続き、長嶺敬彦先生（三光舎・元いしい記念病院内科部長）をお招きし、研究のヒントになるセミナーと個別の研究指導を賜りました。



26日の夕方には、ご到着早々に新患カンファにもおつき合い頂いた後に、内科から見た精神薬理学を基軸に、以下のような研究手法についてお話し頂きました。

- 1.神経回路を考えることの意義
- 2.プロラクチン研究のヒント
- 3.神経心理研究（課題）の応用
- 4.腸内細菌の変化と精神症状

ひとつひとつのトピックが難解にもかかわらず、非常に面白く分かりやすくお話し頂き、話題は動物学や行動経済学などにも広がり、予定より大幅に時間延長してまで質問にも気さくに丁寧にお答え頂きました。

懇親会でもますます盛り上がり、夜遅くまで若い先生たちの質問に答えて頂き、みんなの知的好奇心に火をつけられました。

翌日も、院生が抱えている以下の各研究テーマについてデータを見て頂きながら貴重な御示唆を頂きました。

- ①プロラクチンのデータの解析について
- ②非定型歯痛の臨床データの解析と追加研究について

- ③咬合異常感のSPECTデータの解析とその解釈について
- ④症例報告へのコメント
- ⑤三環系抗うつ薬の効果と口腔乾燥について
- ⑥歯科心身症の拡散テンソル画像の研究法について
- ⑦抗うつ薬治療中の心電図変化について

などなど、長嶺先生の頭の中には図書館があるのでは？？と舌を巻く程たくさんの中を教示頂きました。貴重なデータを丁寧に料理して論文にまとめていきたいと思います。



長嶺先生の座右の銘である「至誠」と三光舎の由来である「共感・脳科学・互恵的平等」がたっぷり詰まった豊かな時間でした。たっぷり頂いた宿題にこれから取り組んでいくとともに、次回は実用的な心電図の読み方やプラセボ研究の工夫などについても御指導をお願いする予定です。

(豊福記)